



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月1日

上場会社名 株式会社 あみやき亭
 コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 佐藤 啓介
 (氏名) 千々和 康

上場取引所 東 名

TEL 0568-32-8800

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,884	6.3	659	45.6	673	43.5	423	60.1
25年3月期第1四半期	5,533	2.4	453	23.8	469	13.4	264	45.1

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 423百万円 (60.6%) 25年3月期第1四半期 264百万円 (45.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	6,185.24	—
25年3月期第1四半期	3,862.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	16,074	13,093	81.5	191,177.00
25年3月期	16,168	12,807	79.2	187,000.77

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 13,093百万円 25年3月期 12,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1,800.00	—	2,000.00	3,800.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	2,000.00	—	20.00	2,020.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期における1株当りの年間配当金(通期)は、分割を考慮しなければ実質4,000円となります。詳細につきましては、平成25年5月15日に発表しました「株式分割、単元株制度の採用及び定款一部変更に関するお知らせ」及び「剰余金の配当並びに平成26年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,130	5.4	1,170	14.1	1,210	14.7	652	6.9	9,519.92
通期	25,000	7.7	2,425	18.6	2,500	18.6	1,364	17.7	19,915.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	68,488 株	25年3月期	68,488 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	68,488 株	25年3月期1Q	68,488 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策や金融緩和により円安・株高へ転じ、経済政策への期待感もあり、全体としての景況感は徐々に改善されつつあります。一方で、中国の経済停滞など海外景気に対する不安感や円安進行による原材料価格の上昇など国内景気の下振れ懸念があり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当業界におきましては、景気回復に伴う個人消費の盛り上がりへの期待はあるものの、依然、雇用・所得環境は改善にまでは至っていない状況にあり、また、原材料価格が上昇するなど取巻く経営環境は厳しい状況となっております。

このような環境の下、当社グループといたしましては、「食肉の専門集団」である強みを活かしたカット方法の改善による原価低減を行うとともに「お客様に喜んでいただき、選んでいただく店舗作り」を目指し、お客様にとって「安心・安全で美味しくて安い」価値感・満足感のある商品を提供に努めるなど他社との差別化を図り、既存店の強化を行ってまいりました。

店舗数につきましては、焼肉事業1店舗（あみやき亭鈴鹿白子店）を新規出店し、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は193店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,884百万円（前年同期比6.3%増）、損益面につきましては、カット方法の改善による歩留まり向上に伴う原価低減が寄与し、営業利益659百万円（前年同期比45.6%増）、経常利益673百万円（前年同期比43.5%増）、四半期純利益423百万円（前年同期比60.1%増）と増収増益となりました。

また、株式会社あみやき亭単体の当第1四半期累計期間の業績は、売上高4,875百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益557百万円（前年同期比25.1%増）、経常利益582百万円（前年同期比23.9%増）、四半期純利益339百万円（前年同期比27.5%増）と増収増益となりました。

<焼肉事業>

焼肉事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、1店舗新規出店した結果、126店舗となりました。内訳は、あみやき亭109店舗、かるび家5店舗、スエヒロ館12店舗であります。

当社が経営する「あみやき亭」では、品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値感・満足感のある商品」の提供に努め、既存店強化に努めてまいりました。

株式会社スエヒロレストランシステムが経営する焼肉「スエヒロ館」につきましては、「食肉の専門集団」である強みを活かして「チェーン店価格」での商品を提供しております。

以上の結果、焼肉事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、4,667百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

<焼鳥事業>

焼鳥事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、58店舗であります。

焼鳥事業は、当社が経営する「元祖やきとり家美濃路」であります。

焼鳥事業におきまして、焼きの技術向上に努め、「美味しくて、安い」焼鳥や釜めしの提供に努めてまいりました。

また、店舗運営力向上策といたしまして、基本の徹底を行うとともに接客・サービスのレベル向上に向けた社員教育の取り組みを行ってまいりました。

以上の結果、焼鳥事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、941百万円（前年同期比10.5%減）となりました。

<その他の事業>

その他の事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、9店舗であります。

内訳は、株式会社スエヒロレストランシステムが経営する、レストランの「スエヒロ館」6店舗、居酒屋「楽市」3店舗であります。

レストランの「スエヒロ館」につきましては、「食肉の専門集団」である当社グループの強みを活かした低価格の「100%国産ハンバーグ」「国産牛ステーキ」を提供するハンバーグ・ステーキの専門店として、引続き品質の向上に努めてまいりました。

また、居酒屋「楽市」につきましても、メニュー開発を行うとともに商品の品質向上やお客さまの立場に立った接客・サービスの向上に努めてまいりました。

以上の結果、その他の事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、273百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

なお、各事業への売上高については実績ベースにおいて記載しており、連結売上高に含まれておりますポイント引当金の影響を考慮しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は、16,074百万円となり、前連結会計年度末と比較し、93百万円減少しました。主な要因は現金及び預金の減少によるものです。

負債総額は、2,981百万円となり、前連結会計年度末と比較し、379百万円減少いたしました。

主な要因は未払法人税等の減少によるものであります。

純資産総額は、13,093百万円となり、前連結会計年度末と比較し、286百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年4月1日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,840	6,759
預け金	293	281
売掛金	2	2
商品及び製品	40	44
原材料及び貯蔵品	93	117
繰延税金資産	103	115
その他	203	253
流動資産合計	7,577	7,573
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,837	4,746
構築物（純額）	381	370
機械及び装置（純額）	191	182
車両運搬具（純額）	2	1
工具、器具及び備品（純額）	179	173
土地	516	516
建設仮勘定	7	19
有形固定資産合計	6,114	6,010
無形固定資産		
ソフトウェア	2	2
その他	46	46
無形固定資産合計	49	48
投資その他の資産		
投資有価証券	3	3
長期貸付金	285	278
繰延税金資産	272	283
差入保証金	1,030	1,033
投資不動産	284	284
その他	550	558
投資その他の資産合計	2,426	2,442
固定資産合計	8,590	8,501
資産合計	16,168	16,074

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	869	713
未払金及び未払費用	1,074	968
未払法人税等	515	283
賞与引当金	91	189
役員賞与引当金	—	5
株主優待引当金	3	14
ポイント引当金	28	27
その他	337	338
流動負債合計	2,920	2,540
固定負債		
負ののれん	0	0
繰延税金負債	24	24
資産除去債務	265	268
その他	149	147
固定負債合計	440	440
負債合計	3,360	2,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	7,906	8,191
株主資本合計	12,806	13,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	12,807	13,093
負債純資産合計	16,168	16,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,533	5,884
売上原価	2,066	2,104
売上総利益	3,466	3,779
販売費及び一般管理費	3,013	3,120
営業利益	453	659
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	0	0
受取賃貸料	—	2
協賛金収入	10	5
その他	1	1
営業外収益合計	16	14
営業外費用		
不動産賃貸費用	—	0
営業外費用合計	—	0
経常利益	469	673
特別利益		
受取保険金	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除却損	6	0
減損損失	6	12
その他	1	—
特別損失合計	13	12
税金等調整前四半期純利益	456	662
法人税、住民税及び事業税	181	261
法人税等調整額	10	△23
法人税等合計	192	238
少数株主損益調整前四半期純利益	264	423
四半期純利益	264	423

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	264	423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	264	423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	264	423

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(開示の省略)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第1四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。